

「加計学園」獣医学部新設に「総理のご意向」

学校法人「加計（かけ）学園」が進める獣医学部新設にかかわって、加計孝太郎理事長の盟友とされる安倍総理の意向が強く働いていたことが疑いがないものとなりつつあります。

首相補佐官が直接総理の意向伝える

安倍晋三首相の友人が理事長の学校法人「加計学園」（岡

山市）が獣医学部を新設することについて、昨年9月上旬、文科科学省の前川喜平事務次官（当時）が、和泉洋人首相

〔加計学園の獣医学部新設をめぐる経緯〕		
2007～14年		愛媛県と今治市が「構造改革特区」に15回提案するが実現せず
15年	6月4日	愛媛県と今治市が「国家戦略特区」に提案
16年	8月下旬	木曾内閣官房参与「早く進めてほしい」と督促
	9月上旬	和泉首相補佐官「総理の代わりに言う」発言
	9月26日	「内閣府審議官との打ち合わせ概要」に「官邸の最高レベルが言っていること」と記載
	10月17日	「大臣ご確認事項に対する内閣府の回答」に「これは総理のご意向」と記載
17年	11月2日	文科省が獣医学部新設を了解と内閣府に回答
	1月4日	特区を公募した結果、応募は加計学園のみ
	3月3日	今治市が加計学園に学校用地の無償譲渡決定
	3月31日	加計学園が文科大臣に獣医学部設置認可申請

区で獣医学部新設の手続きを進めるよう求められたと文科省職員に話していたことが同省関係者の証言で分かった。文科省が獣医学部の新設に難色を示していた時期に内閣府だけでなく

首相周辺からも働きかけがあった疑いが浮かび上がりました。首相主導の国家戦略特区で新設要求

関係者によると、前川氏は昨年9月上旬、内閣官房で地方創生を担当する和泉洋人首相補佐官から官邸に呼ばれました。この席で、和泉氏は前川氏に、国家戦略特区で獣医学部を新設するため文科省が早く手続きを進めるよう要求したといいます。

当時文科省は獣医学部の新設を禁止

これに対して前川氏は「最終的には大臣が判断されること」として明言を避けました。

当時、文科省は告示で獣医学部の新設を禁じており、許可するには、農林水産省が獣医師の数が足りない判断することが必要だと主張。農水省が獣医師数は足りているという立場だったので、新たな獣医学部は必要ないとの姿勢でした。

具体的な検討や説明を求める文科省

「加計学園への伝達事項」という文科省の内部文書では、既存の獣医学部との差別化をはかることを「よく検討していただきたい」と明記しています。

また、獣医学部として全国最多となる160人の定員についても、「具体的な需要の説明が必要だ」として、「設

千葉県が6月補正予算案に保育士の給与引き上げ補助金を計上

6月1日に発表された千葉県の補正予算案に、保育士給与を引き上げるための市町村への補助金が5億5千万円計上されました。

保育士給与補助月額上限1万円

対象は民間保育所に勤務する常勤保育士（非正規含む）で、市町村が給与引き上げの補助事業を行った場合、その半額を県が補助するものです（上限額1万円）。ただし、すでに実施している市町村の場合、現在の引き上げ額を拡充した場合のみ県制度の対象とされ、拡充分を限度に県が補助することになります（上限額1万円）。

置申請に向けて、教員確保や施設整備、資金計画など、万全な準備を」と加計学園に求めています。

文科省の抵抗を押し切る総理の意向

こうした姿勢でいる文科省に対して内閣府は昨秋、獣医学部の2018年4月開学は「官邸の最高レベルが言っていること」と迫り、「総理

のご意向」と重ねて求めています。これらの言葉が記された文科省の内部文書を、前川氏は「本物」と認めています。そして今年1月、獣医学部特区の公募が行われ、応募は加計学園のみ。学部新設に大きく動くことになりました。

こうした経緯を見れば、抵抗する文科省を「総理のご意向」でねじ伏せた結果であることは想像に難くありません。

ります。

ただ、医師も看護師も必要とされている人数からみれば、まだまだ足りないと言わざるを得ません。

不要不急の巨大事業推進に前のめり

その一方で、同じ日に公表された「国の施策にたいする重点提案・要望」（案）では、「北千葉道路の早期整備」「東京外郭環状道路の建設促進」「第二東京湾岸道路の早期具体化」「八ッ場ダム建設事業の早期完成」など、不要不急の大規模開発が並んでおり、三期目の森田県政の姿勢が表れたものとなっています。

医師と看護師確保の予算も増額

この他に補正予算では、医師確保のための就学資金貸付制度の対象人数を、当初予算の48名から63名へと15名拡大します。看護師の就学資金でも560名から590名へと30名拡大するなど、県民の声を反映した部分もあります。